

2015年度「第24回 定時総会」4/24開催!

2016年度に向けて、本年も、「第24回定時総会」を下記日程で開催いたします。総会の資料「議案書」等は、4月初旬に郵送いたします。「定時総会」は、全寺子屋が一同に集い、この一年の活動を振り返り、新しい年度に向けて話し合う貴重な場です。皆様、お誘いあわせの上、多数ご参加ください。

○日時:2016年4月24日(日)午後2時-4時 ○会場:北野事務所 2階 大会議室

2016年度 役員・監査役候補者、正・副寺子屋長決定

次年度の役員・監査役候補者、寺子屋長、副寺子屋長、研修部員、広報部員が下記のように決まりましたのでお知らせいたします。

○役員・監査役候補者（副代表は五十音順に掲載）

代表:中島 忍 副代表:鈴木 孝一、長井 千恵、中田 勝敏、芳地 由起子

監査役:東 陽一

○寺子屋長・副寺子屋長・研修部員・広報部員(空白部分は未定)

寺子屋	寺子屋長	副寺子屋長	研修部員	広報部員
東浅川	竹田 武司	佐々木真美子、三木 康子 春山 潔	関口 智子	金田 明子
南大沢	高橋 武	佐藤 緑、向井ちぐさ 西堀 孝文	高橋 聖子	
由井一小	館内 智子	富田 隆、貝嶋 康文	平澤 尚子	高橋 徹
駅前月曜	相原 久子	吉田 靖子、大場 節子		石賀 清美
北野	杉山 光右	宮崎 周一	平 正之	宮崎 周一
台町	谷合 誠			
大和田	山口 喜世子	福井 恵三	淵本 多佳子	仲村 実明
駅前金曜	綾見 優子	戸松 繁雄、芳地由起子	大内 マサ子	澄川 宏三
駅前土曜	伊藤 喜朗	小野美千子、天花寺 久恵	秋田谷 誠	近藤 知子
子ども支援	渡辺 真			

<目次>

幹事会報告・・・2-4

研修部のページ・・・5

日本語あれこれ・・・6

寺子屋だより・・・7

会員の声・・・8

学習者の声・・・9

お気に入りの一冊・・・10、11

インフォメーション・・・12

第7回幹事会報告

日 時: 2015年12月12日(土)午後1時~3時 会 場: 八王子市民活動支援センター
出席者: 中島、佐藤、中田、芳地、石塚、吉本、貝島、吉田(靖)、宮崎、谷合、納土、伊藤、
吉田(婦)、渡辺(真)、東、鈴木。 (敬称略)

□■連絡・報告事項 司会: 貝島/記録: 吉本

1. 会計より ①会費について再確認(年度初めに既報告) : 会員: 1,000 円、大人学習者: 1,000 円、小中高生学習者: 500 円。(1月入会者は半額、但し2月、3月入会者は寺子屋長判断に委ねる)
2. 研修部より ①新入会員オリエンテーションについて: 参加者 18 名 ②不明図書が判明: HP に掲載予定。③2015 年度第 2 回研修講座について: 山崎先生に依頼済→1/31、2/7
3. 広報部より ①「ともだち24号」(11/29 発行) 250 部印刷し、学習者全員に配布した。
4. ホームページ部会より ①2016 年度 役員・監査役改選の web 投票を推進していく。

□■議題

1. スピーチ大会について確認; 隔年開催予定で既に承認を得ているが、毎年実施して欲しい、との意見も多くある。今後どのような方向にもっていくべきか、見直し、検討する時期に来ているのではないかと。
2. 日曜教室(東浅川教室)開設の件; 東浅川は学習者が多いので、待機学習者を減らすためにスクエアで日曜教室開設を提案し、寺子屋内でアンケートを取ったが、日曜教室を開設するのは難しい。
3. 次期役員候補推薦の件; web 投票は 12/13 開始。紙会員には往復葉書で郵送済。締切りは1/31。
4. 寺子屋長互選は速やかに決定し、2月20日までに、結果報告を代表まで連絡してください。

第8回幹事会報告

日 時: 2016年1月16日(土)午後1時~3時 会 場: 八王子市民活動支援センター
出席者: 中島、佐藤、中田、芳地、竹田、西堀、富田、宮崎、谷合、納土、綾見、渡辺(真)、
鈴木。 欠席: 吉田(靖)、伊藤。 (敬称略)

□■連絡・報告事項 司会: 富田/記録: 芳地

1. 代表挨拶: 次年度役員の件ですが現時点で立候補者はありません。23名の方から推薦投票が来ています。立候補・推薦投票の締切りは 1/31 ですので、よろしく願いいたします。
2. 会計の報告 ①減額会費のお知らせ; 1月~3月に入会された方は半額になります。②交通費について: 現在は所属寺子屋を起点とした実費計算ですが、業務の軽減化を考慮し一定額を一括して支払う方向で検討中。
3. 研修部の報告 ①2015 年度第二回新入会員オリエンテーション実施報告: 開催日 12/13、参加者は13名。②2015 年度第二回研修講座: 現時点50名。研修資料は HP に掲載予定。資料の利用は会員のみ。③図書管理: 各寺子屋にある図書は、管理者(寺子屋長か研修部員)を決めて各寺子屋で管理する。
4. 広報部の報告 ①会報2月号: 2月28日発行予定 ②会報4月号: 4月3日発行予定。

□■議題

1. スピーチ大会について: 隔年開催になっているが、各寺子屋で独自に開催したらどうか。
→開催するかどうかは各寺子屋に任せる。開催の場合、資金の支援を検討する。
→全体としての「スピーチ大会」を毎年開催したほうが良いという意見が、3寺子屋からあった。

- 寺子屋の活動状況報告: 各寺子屋より報告があった。「年末のお楽しみ会」や「新年会」等、各寺子屋で活発に行われた。南大沢寺子屋では 1/24 に新年会を行う予定・・・他寺子屋からの参加も可。

第9回幹事会報告

日時: 2016年2月13日(土)午後1時~3時 会場: 八王子市民活動支援センター
出席者: 中島、佐藤、中田、芳地、竹田、西堀、富田、宮崎、谷合、納土、吉田(婦)、
吉田(靖)、渡辺(真)、伊藤、鈴木。 (敬称略)

□■連絡・報告事項 司会: 吉田(靖)/記録: 宮崎

1. 会計の報告 ①年会費未納者に督促状を郵送する(3/1)。 ②今年度の会計の締めは3/19とする。

2. 研修部の報告

①研修講座:参加者:1/31(47名)、2/7(40名)→詳細は会報5頁に掲載。

②図書関係;子ども図書の棚卸しを行い(2/5)、「専用図書」と「共用図書」の確認をした。HPに掲示。

3. 広報部の報告

①「会報2月号」発行(2/28)・・・次年度役員候補者を掲載予定。 ②提案:広報費に「印刷費」と「コピー紙費」が計上されているが、これらは会全般に関わる資料作成時の印刷費が大半を占める。そこで、次年度から、会全体の「印刷費・コピー紙費」として扱うことを提案し、承認された。

□■渉外関連

①国際協会、IVH と協議を行い、スクエア11階会議室の利用について第4日曜日は使用しない旨を伝えた。

②3/28 団体ネットワーク会議に参加予定→プラザ会議室での Wi-Fi の利用環境をお願いする。

③国際協会受付けの当会への入会希望者は、代表が窓口になり一本化。代表が各寺子屋長に連絡する。

□■議題

1. 2016 年度新役員投票(締切 1/31)

○投票結果発表: 投票率 web 投票:21.7%、葉書による投票:25.8%。計 23.2%。

○3/12 幹事会までには役員候補者を決定する。 3/13 新旧役員顔合わせ、議案書の作成等を行う。

2. スピーチ大会・新春の集い

隔年開催を継続するが、「スピーチ大会」については、毎年開催が望ましいとの意見が提出された。その意見を踏まえ、次年度新幹事会にて「スピーチ大会」の運営方法について再検討する。その際、「新春の集い」との関連性についても検討し、幹事会に諮ることとする。

3. 2016 年度会費は、会費、学習者費共に従来通り 2,000 円とする・・・各寺子屋の学習関連補助、交流を前提としたイベント等の開催に対する補助、および、共用図書充実のため予算を組むこととする。

4. 会計より「交通費支払い方法の変更」を提案: 事務処理の簡略化を図る一環として、「担当別に一律の金額を一括で支払う」という方向で、今後も継続して審議していく。

次回幹事会 3月12日(土)13時-15時、場所:ファルマ802 (司会)宮崎 (記録)谷合

○入会者: どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 勇雄、新田 正敏(東浅川) 新田 聡、櫛田 文夫(由井一小)

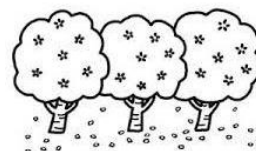
高橋 一次(北野) 垣谷 治善、根本 保(南大沢)

○退会者: お世話になりました。

栗林 寛(駅前土曜) 今西 佳代子、上塘 耀己(南大沢)

福島 武(駅前月曜) 吉田 純子(駅前金曜)

○会員の移動: 新田 正敏(由井一小へ) (敬称略)



第10回幹事会報告

日時: 2016年3月12日(土)午後1時~3時 会場: 八王子市民活動支援センター
出席者: 中島、佐藤、中田、芳地、石塚、西堀、富田、宮崎、納土、綾見、渡辺(真)、
伊藤、鈴木 (欠席)谷合、吉田(靖) (敬称略)

□■連絡・報告事項 司会:宮崎/記録:芳地

1,会計の報告

①会費未納者1名への督促状郵送済み。(3/1)

→3/31まで納入がない場合は自動的に退会扱いになる。

→(提案)未納者への対応は寺子屋長に一任したらどうか。会計業務の軽減になるのでは。

②今年度会計の締めは3月19日とする。 ③決算報告書と予算書(案)の作成準備。

2, 研修部の報告

①研修講座関係:2015年度第二回研修講座記録をHPに掲載。

②図書関係:図書リスト(共用図書・寺子屋専用図書)及び図書管理者リストをHPに掲載予定。

3. 広報部の報告

①「会報2月号」は2/28に発行予定でしたが延期します。

(理由)2月号では「次年度役員候補者・各寺子屋長等」の記事をtopページに掲載予定でしたが、これら事案は幹事会の承認を経ておりませんので、当月幹事会承認後に掲載・発行します。
次号は、「2月号・4月号の合併号」として発行予定(日程は現時点では未定)。

4, ホームページ部会

①次年度から「ホームページ部会」は「ホームページ部」になり、担当役員を置くこととする→承認された。

②定時総会への出欠席、委任状等、web上で出来るように作業中。4/3を目安に配信予定。

□■渉外関連 …… 特記事項ナシ。

□■議題

①八王子にほんごの会「規約」の第7条、第11条を一部改正(役員構成、監査役)を提案

→当幹事会で承認された。「定時総会」に諮る。

②2016年度新役員・監査役候補者の提案 → 当幹事会で承認された。「定時総会」に諮る。

(新役員・監査役候補者)

代表:中島 忍 副代表:鈴木 孝一、長井 千恵、中田 勝敏、芳地 由起子 (五十音順掲載)

監査役:東 陽一

□■寺子屋の活動状況報告

大和田では学習者が減少、由井一小では学習者が増加傾向というように寺子屋間での状況が異なる。

★次回幹事会は「**新旧合同幹事会**」になります。(司会:谷合。記録:納土)

日時:2016年4月2日(土)13~15時 場所:東急スクエア12階 第3セミナー室

(主な内容) ①新役員・新寺子屋長・副寺子屋長紹介

②「議案書」について

③新寺子屋長・副寺子屋長に寺子屋運営業務を説明

2015年度「第二回 新入会員オリエンテーション」報告

2015年12月13日(日)午後1時-3時、東急スクエア 11階会議室にて開催。対象者27名のところ13名の参加がありました。前回同様、中島代表から「会の概要」、「会員の心得」、「学習者への対応」等の説明の後、参加新入会員からの質問、意見、感想等、活発なディスカッションを行いました。会員と学習者のマッチング、教材の選び方、日本語能力試験の勉強の仕方等多くの意見が出ました。

代表から「ボランティア活動は楽しくなければ!」という話があり、新入会員含め参加者全員が納得でした。その他、「他の寺子屋の状況が聞けて良かった」、「今日の説明で自分にできるかという不安は大分解消した」などポジティブな感想もあり、とても良いオリエンテーションになったと思います。参加新入会員の皆様ありがとうございました。今後のご活躍を期待します!

2015年度「第二回 研修講座」報告

◇1日目: 2016年1月31日(日)午後1:30-4:00 ・会場:東急スクエア12階、第2セミナー室

◇2日目: 2月7日(日)午後1:30-4:00 ・会場:クリエイトホール10階、第2学習室

◇参加者合計: 55名 (1日目:47名、2日目:40名)

◇講師: 山崎 佳子先生(横浜市泉区日本語講師、法政大学国際交流センター講師他)

◇テーマ: 「多文化共生を目指す地域社会での生活サポートとしての日本語」

—楽しく達成感のある活動へ—

多くのイラストが入った資料を基に、グループディスカッションによる勉強の進め方の実践練習等があり、会員同士がグループで話し合ったり考えたり...とても楽しい研修になりました。また、会員から希望が多かった「教え方」に焦点を合わせた「Can-do」という行動目標による研修は、即学習で実践できる内容でした。



豊富なご経験と日本語の専門的な知識に裏打ちされた説得性のある文法や教え方の説明、気さくで明るい先生のお人柄の現れたイラストや小道具、さらにグループディスカッションでは、率先して皆の中に入り込んで議論を活発化させる等、地域の日本語教室のサポーターとしての役割を実感できる、有意義な研修をして頂きました。



「楽しい小道具」

また、当日配布した資料は、山崎先生のご好意で研修参加者以外の「八王子にほんごの会」会員にも開示できるよう、HP掲載の許可を頂いております。当会会員内限定ということですが、是非、日頃の学習でご利用頂きたいと思います。

(記: 研修部長 中田勝敏)

音(オン)のない漢字、訓(クン)のない漢字

河辺 岸三 (南大沢寺子屋)

漢字の読み方に音(オン)と訓(クン)があることは誰でも知っています。では、漢字に音(オン)と訓があるのはなぜでしょうか。音(オン)は漢字が渡来したその時代の中国での発音、訓は漢字の日本での発音だと説明されたりしますが、それは少し違うだろうと思います。例えば「鳩」を「ハト」と読むのは漢字に日本の言葉(和語)を対応させたもので、漢字そのものの発音ではありません。

右のカット見てください。これは平安時代中期に成立した漢字辞書『倭名類聚抄』の江戸初期に作られた古活字版の一頁です。ここでは「鳩・鴿・鳩・鴿」の語義を漢籍の引用で説明しています。小字で2行に割書した部分では、まずその漢字の音(オン)を、次に「和名×××」とあるのが漢字に対応する和語ですね。×は和語の1音を表わすための符牒、発音記号のように使われた漢字(音仮名)です。

「鳩」は音(オン)が「キウ」、「和名 夜万八止」とありますね。「夜万八止」は「ヤマハト」(山鳩)です。同様に、「鴿」「鳩」「鴿」は音(オン)が「コウ」「カク」「ケン・キン」、和名は「以倍八止(イヘト)」「伊加流加(イカルガ)」「比米(ヒメ)」と書いてある。漢字の訓はこの和名に由来したものです。

ところで、日本の漢字すべてに音(オン)と訓の両方がある訳ではありません。例えば「峠」という漢字は、どの漢和辞典にも「峠 [国字] たうげ。たむけの音便。」のように書いてあり、音(オン)についての説明は皆無です。

鴿	鳩	鳩	鳩		
喙 鳥也	陸 詞切韻 云鴿 語音抄 云又比 米琴漢 白	鳩 似鴿而 白喙者 也兼苑 注云斑	崔禹錫 食經云 鴿伊胡 加岳反 加和名 貌	昔也 本草云 鴿以古 倍入反 止和名 頸短灰 色	野王案 鳩昔萬 丘和名 止此鳥 種類甚

「国字」というのは日本で作られた漢字のことで、「峠」は山越え道の最高地点を一字で表した見事な漢字ですが、もともと「たうげ」という和語(=訓)を表すためだけに作られたこの漢字には、音(オン)はそもそも必要なかったのでしょうか。漢字の旁(ツクリ)で音(オン)を表わそうにも、「上下(ジョウゲ)」では音(オン)になりません。もちろん「峠」は中国の辞書には載っていない漢字です。

「国字」の中には、「峠」と逆に、音(オン)があつて訓のない漢字もあります。深海魚のアンコウは「鮫鰐」と書きますが、古い漢和辞典を見ると「鮫」と「鰐」は音(オン)が違っただけで、どちらの説明も「[[国字] 鮫鰐は海魚の一。」とまったく同じです。訓についての記述はなく、「鮫鰐」は「鮫」の唯一の用例として出てきます。

「鱈」や「鰯」のように、1文字で魚の特徴を連想させる漢字を作るのが難しく、音を表すだけの魚偏の漢字を作ったものでしょう。ただ、その後の漢和辞典では、宋代の中国の辞書を根拠にあげて、「鮫」については国字扱いを止めています。

「鮫」と「鰐」は中国の辞書にも載っていますが、どちらもピンイン式の発音記号に続けて「鮫鰐を見よ」とだけ記述し、典拠の説明がありません。これは「鮫鰐」という国字が中国に逆輸入された結果ではないかと想像されます。

なお、国字はその性格上、生活に密着した場面から生み出されたと考えるのが妥当です。そこで、食生活に関係ありそうな部首を小型の漢和辞典で確かめると、国字は魚部に断然多く、鳥部にぼつぼつ、ケモノ偏には皆無で、肉食がタブーだった日本人の食生活を文字の面から眺めるような気がします。



寺子屋 だより



○由井一小寺子屋(日曜夜) 会員 10名/学習者 12名

由井第一小学校の寺子屋は、現在、7か国から12人の学習者が在籍し、会員は10人となっております。出身国はペルー、ベトナム、米国、中国、タイ、スリランカとなっております。(本来1対1で教えるので、学習者数と会員は同数になるのですが、タイからの学習者を一人で3人同時に教えている関係上、学習者数が多い結果となっています。)

また、新年となり、学習者および会員がそれぞれ3人ずつ新規に加入することとなっています。

東北の震災後には一時、一組か二組しか教室にいないという寺子屋の存続が危ぶまれる状況になりましたが、最近人数が増えてきており、この傾向が続くようです。

外国人技能研修制度を利用した外国人の誘致が、国内の労働力不足と相まって盛んになり、それが寺子屋の生徒の増加に反映されているようです。 (高橋 徹記)



○東浅川寺子屋(日曜午前) 会員 39名/学習者 45名

昨年の秋に、「駅前月曜」から「東浅川」に移動して、まだ詳しくはこの寺子屋のことを把握しておりませんが、印象に残ったことをレポートさせていただきます。

東浅川の教室は、JR中央線八王子から高尾駅に向かって、左側1km手前の線路沿いにある「東浅川保健福祉センター」の2～3教室を借りて、毎週日曜日の午前中に開催しております。

学習者は、ベトナム、インドネシアの企業実習生が9割を占め、若い人が多い大変活気のある教室です。

昨年の12月20日には「お楽しみ会」を実施し、カレーを昼食に料理したり、会員が持ち寄ったプレゼントを景品にしたビンゴゲームや伝言ゲーム等を楽しみました。

この他にも、春の「お花見会」、秋の「課外授業」のイベントや学習者の多くがチャレンジする「日本語の能力検定試験対策」など、多くの活動に学習者・会員の方々みんなが協力して、取り組んでいるとのこと。

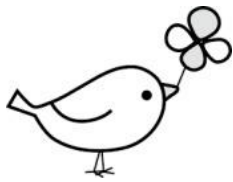
私もインドネシアの男性の実習生を担当しており、ともに学びながらこれからのイベントを楽しみにしております。擬態語で表現すれば「ニコニコ、キラキラ、キビキビ」の大変若々しく、楽しい雰囲気 of 寺子屋です。 (吉田 衛記)



毎月最後の授業の後に進む連絡会の様子



3年の実習を終えて帰国する学習者の送別会



みんなの 広場

会員の声

田中 勉 (駅前月曜寺子屋)

「ももちゃん」

私が日本語教師養成講座420時間コースを修了して「さて…」と始めたのが、都心の大学の工学研究科で学んでいる海外留学生の日本語学習をサポートするボランティア。養成講座で学んだ10人ほどの仲間と始め、14年に及ぶ今も続いている。ただ「折角学んだことを週1回だけではもったいない、地元でも」と杏林大学を訪ね、私自身のキャリアを活かして「ビジネス日本語」教室を持たせてもらった。数人の学習者と毎週1回2時間ロールプレイ中心に2年半ほど続けたが、なにせ大学というところは休みが多い。どうせなら1年間52週勉強の機会を…と、その時の学生に呼びかけて「八王子にほんごの会」に入ってもらった。その時の1人が「ももちゃん」である。

留学生が日本語で日本語に関する修論を書くということは大変なこと。中国人の「ももちゃん」は修士論文の作成にかなり手はずっていたので私が添削指導してしまったが、それを今もって恩義に感じてもらっているようである。「ももちゃん」は修士を修了して帰国し、人民日報系の英字紙 china-daily に入社した。学んだ日本語能力を活かし、「東京—北京フォーラム」の事務方を担当するようになった。このフォーラムは china-daily と日本の「言論 NPO」が共催し、日中共同世論調査に基づく議論を通じて相互理解を深める民間交流の場として、日中関係が冷え込んだここ数年重要な役割を果たしてきた。東京と北京で隔年開催されるので、1年おきに会うチャンスがある。最初の年には、初めての表舞台で緊張していたのだろう、会ったとたん緊張の糸がほどけたのか飛びついてきてハグしてくれるので、いささか照れくさかったが、中国側の偉そうな人がこちらの様子をうかがっているのが気になって仕方がない。あとでその人にどういう関係か糺されたそうだが、説明して分かってもらえたとか…。

ちょうど1年前の1月末にはご両親を連れて訪ねてくれ、駅前月曜教室にも、彼女の学んだ杏林大学にも案内してあげることができた。

私はまだ中国に行ったことがない。「ももちゃん」が帰国するときに約束させられた。自分の結婚式に家内ともども招待するので、最初の訪中はその時まで待っていて下さい…と。

年に数回彼女のお父さんとも手紙の交換をしている。一週間ほど前にもお父さんから手紙が届いた。最近北京で素敵なマンションを購入したとかで写真も数枚入っていた。間もなく良い知らせがあるかと楽しみにしている。

データから見る NEWS

「日本で働く外国人 過去最多」

厚生労働省は2016年1月29日、日本で働く外国人が2015年に90.8万人と前年より15%増え、3年連続で過去最高を更新したと発表した。国籍では、トップの中国が32.3万人と3%増、ベトナムが11万人で80%増、フィリピンが10.7万人で16%増だった。製造業や流通業など人手不足の現場を補っている。在留資格別にみると、留学生が19.2万人と31%増えた。政府が留学生を増やそうとしていることに加え、人手不足の会社で留学生の需要が高まっているためとみられる。技能実習生は16.8万人と16%増えた。

(日本経済新聞「アジアニュース」より)

○中国のお正月「春節」

楊 莉 (南大沢寺子屋)

中国の旧正月を、「春節(しゅんせつ)」と言います。旧暦を元に行っているため、元旦に当たる日は、毎年変化しますが、今年は2月8日です。今回、中国のお正月「春節」をご紹介しますと思います。春節は日本人がお祝いしている「お正月」とかなり異なります。春節は中国で最も重要な祝日です。春節の時、各地では様々な行事が行われます。

初一(日本でいう元日)から一週間の間、全国各地で日本の縁日に相当する廟会(びょうかい)が行われています。このほか、獅子舞を舞うのが伝統的な行事です。春節では、すべて赤一色になります。中国で赤色は「運が良い」「喜び」等の意味を含んだ「最も幸せな色」と言われています。又、いたる所で爆竹がなりまくり、それは、「鬼除け」の意味を持ちます。既婚者が未婚者に、赤い袋に入ったお年玉をあげるのも通例です。



北の方では大晦日の夜、水餃子を食べる習慣が有名です。餃子を作る時、餃子の中におみくじのような「なつめ(甘く幸せな一年を過ごせる)」「落花生(健康長寿)」、「硬貨(金運に恵まれる)」等を入れます。その結果で一年の運を占います。いかがですか? 中国の春節を体験してみたくなっちゃうでしょう?
(家族の絵は「アリオ橋本」で画家に描いてもらいました)

○ネパールのお正月

バシマ ビケス (駅前金曜寺子屋)

ネパールにはいろいろな民族の人たちがいます。それぞれの民族が、別々の時にお正月をします。私のお正月は毎年違う日ですが、だいたい4月になります。

今年は4月19日がお正月です。

お正月には、違うところに住んでいる家族がみんな集まって、おいしい料理を食べてからお寺に行ってお祈りしたり、お互いに挨拶したりします。

ふるさとでは、特別なお祭りがあります。お祭りには、ほとんどの人が伝統的な服を着て、お寺に行ってお祈りします。

お祭りでは、ヒンドゥ教の神さまの像をかついで町を回ります。そして、かついだ人たちが踊ったり、アービルというオレンジ色のパウダーを友達にまいたりします。

このように家族や友達とみんな楽しくすごします。



日本語テキスト

お気に入りの一冊

日ごろの日本語学習で、皆さんはどのようなテキストを使っているのでしょうか。「内容が分かりやすい」、「とても役にたつ」、「学習者に好評」、「自分に合っていて使いやすい」等々で、きっと‘お気に入りの一冊’があるのではないのでしょうか。でも、周りの方々がどのようなテキストを使って勉強しているのか、案外知らないものです。そこで、皆さんに伺ってみました。「私も使っています！」という方や「使ってみたいです！」という方もいらっしゃると思います。参考にして頂ければ幸いです。(敬称略。順不同)

質問 ①テキストの題名(出版社) ②そのテキストのどこが気に入っていますか。

☆田中 勉(駅前月曜)

①『日本語能力試験 文法 2級』(UNICOM Inc.)

②現在は「N2」になっていますが、内容はそんなに変わっていません。

コンパクトで内容も分かりやすいので今も使っています。いつもカバンに入れてあります。



☆中田 勝敏(東浅川)

①『小学国語辞書』(どの出版社の辞書でもいいと思います)

②小学生向けなので、漢字の書き順や言葉の意味説明が分かりやすく、よく使っています。

☆仲村 実明(大和田)

①『日本語中級 I、II』(凡人社/国際交流基金 日本語国際センター)

②文法・漢字・長文等の練習問題が充実しています。

☆圓岡 紘子(南大沢)

①『漢字の成り立ち』(金の星社)

②絵本の出版社なので、豊富なイラストで漢字を説明していて、子供にも分かりやすいです。

☆杉山 光右(北野)

①『小学校1、2年生用のドリル』

②非漢字圏の学習者には、手頃な100円均一の店のドリルを購入してもらい、勉強しています。

☆吉田 靖子(駅前月曜・駅前土曜・南大沢)

①『きりり日本語 N5 語彙』(凡人社)

②教科書で記載されている単語数は少ないのですが、これにはイラスト付きで沢山の単語が載っています。

☆内山 和良(南大沢)

①『初級日本語 げんき 1 第2版』(The Japan Times)

②英語圏の学習者が自ら好んで購入して来たので共に使っています。分かりやすいようです。

☆戸松 繁雄(駅前金曜・東浅川)

- ①『にはんご これだけ』(ココ出版) ②イラストがたくさん描いてあるところがいいです。

☆井上 清明(駅前月曜)

- ①『みんなの日本語』(スリーエーネットワーク)
②英語圏の学習者には、英語のコメントが載っているテキストを使っています。
『みんなの日本語』は多言語で出版されているので便利です。

☆澄川 宏三(駅前金曜)

- ①『日本語作文集』(日本僑報社) ②日本で生活している感想が書かれている。

☆高橋 武(南大沢)

- ①『はじめよう日本語 初級1、2』(スリーエーネットワーク)
②場面ごとに設定されているので、その場で何を話したら良いか、分かりやすいです。

☆綾見 優子(駅前金曜)

- ①『きらり日本語』(凡人社) ②場面ごとのイラストが多く、語彙を増やすのに役立つ。

☆伊藤 喜朗(駅前土曜)

- ①『どんなとき どう使う 日本語表現文型 500』(アルク)
②初級から上級までの文型が並列して書いてあり、実力差のある人にも一冊で対応できる。

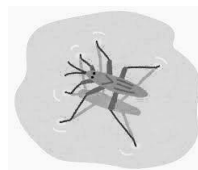
♪楽しい滑舌トレーニング♪

勉強する前に、学習者の皆さんと一緒に、発声練習をしてみませんか。

意味は分からなくても リズムよく、ゆっくり、はっきり読んでみましょう。

口の動きが滑らかになり、自分にとってどの音が難しいのかも発見できます。

(北原白秋;「あめんぼの歌」より抜粋)



あめんぼ あかいな あいうえお かきのき くりのき かきくけこ
ささげに すをかけ さしすせそ たちましょ らっぱで たちつてと
なめくじ のろのろ なにぬねの はとぼっぼ ほろほろ はひふへほ



まいまい ねじまき まみむめも やきぐり ゆでぐり やいゆえよ
らいちようは さむかる らりるれろ わいわい わっしょい わいうえを

Information

□◆□「会報」既刊号より…心温まるエッセイ □

会報は既刊号をpdf化して、会のHPに保存して公開しています。ある集まりで「昔の会報はいいですよ。面白いし、ちっとも古くないんですね。」という話で盛り上がり…鈴木孝一さんに記事の一つを推薦して頂きました。以下に、「会報 104号」(2004/2/10発行)に掲載された「エッセイ」を紹介します。

「桜」

私の家には、高々50坪の敷地に不相応な桜の木があります。ソメイ吉野です。家を建てる時植木屋さんが「桜を植えるのですか」と訝しがったのを押しきって植えたものです。



桜との出会い、それは少年時代に遡ります。小学校4年から教科に理科が加わりました。その第一課が桜でした。先生が校庭に咲いている桜の木から枝を切ってきて私達に数輪ずつ配ってくれました。花卉はどれも5枚、中心に雌しべがあり、それを雄しべが取り囲んでいます。雌しべの根元には蜜がありました。それを5葉の萼がしっかりと囲み、それには細かい産毛さえ生えています。あの岩のような黒い幹から、どうしてこんな妙麗な花が生まれるのでしょうか。私はその不思議さにうたれて、先生の話も、うわの空でした。

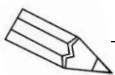
数年の後です。私は都内の中野に住んでいましたが、あの戦争で空襲に遭い、家は丸焼になってしまいました。仕方なく、焼けトタンでバラックを作り、やっと雨露を凌いでいました。情けない気持ちでいました。

でも、そこにも春が来ました、すると、生き残った桜の株から芽が出てきて、ほんの数輪だけ、花を咲かせました。荒涼とした焦土、そこに小さな、みずみずしい桜の花、私の体の中を靈感の様なものが突き抜けていくようでした。 やっと自分の家が持てるようになった時、この思い出が変人と云われようとも、私に桜を庭に植えさせたのでした。それから毎年4月になると、その桜は花を咲かせます。私の家は小学校の通学路になっていて、満開が入学式の日と重なった時など、道にまで枝を伸ばした桜を背景に記念写真を撮っている親子を見ることもありました。 その子供も今では成人し、社会の第一線で活躍しているのでしょうか。或いはもう母親となっているのかも知れません。でも、若しかしたら、あの桜の下の記念写真の時の母親の手の温もりを想いだしているのかも、と勝手な想像をしています。

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」といって桜は剪定するものではないと云われています。でも、それも大きくなり過ぎて、お隣の庭にも影を落とすので、木が枯れてしまわぬように気を使いながら剪定しています。家の者はもう伐ってしまおうかと言いますが、私にはそれは忍びないのです。 (元会員:島井 礼次郎)

□◆□ ちよつといい本…『その日本語、どこがおかしい?』 ◆

文型指導法のガイドブックです。「教えるににくい文型」と「使い分けが難しい文型」に分けて、学習者の誤用の問題点を提示しています。ベトナム語、スペイン語、モンゴル語等、外国語の特徴も同時に取り上げています。導入例や付録も参考になり、新感覚の文法書ではないでしょうか。(高嶋幸太編著、国際語学社、1,600円)



編集後記

今年も桜の季節がやってきました。会も新年度に向け忙しい時期になりました。事案決定に、思いの外時間がかかり、会報2月号発行は延期することに…早目に原稿を頂いた方にはご迷惑をおかけいたしました。本日、やっと、「2月号・4月号合併号」として、発行することになりました。創刊号から今号まで24年もの歴史がある「会報」ですが、時代が移り変わっても、人と人との温かい交流は変わらないことが分かります。この一年間、「会報」へのご投稿、ご協力ありがとうございました。(広報部)